

第4研究課題 第4分科会 「組織・運営に関する課題」

研究主題 「若手教員にとって安心できる組織づくりを目指す副校長・教頭の取組」

徳島市沖洲小学校 米田直紀

1 研究の概要

本県では、近い将来、若手教員が担う役割が非常に大きくなる。若手教員を見ていると、様々な不安を抱えていることが伺える。日頃より副校長・教頭は若手教員に対して支援に努めているが、事後的な対応が多くなっていることも否めない事実である。また、若手教員の「個人の成長及び安心・安全」は、組織の強化にもつながる。そこで、組織としてサポートする「しくみ」「工夫」について研究を行うことは意義があると考えた。

そこで、徳島市・名東郡の副校長・教頭の人材育成に係る校内の取組や意識を調査し、若手教員の不安や要望と照らし合わせた。その結果をもとに、若手教員にとって安心できる組織づくりについて考察した。

2 研究の内容

実 践 内 容	副校長・教頭としての関わり
(1) 徳島市・名東郡各校の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「対話」「観察」「面談」等の積極的な把握 ○ 組織の工夫 学年編成や校務分掌／学年団の重視 等 ○ メンター制の導入 頻度／構成員／内容／展開等の吟味 等 ○ 指導的役割を担う者の授業への参画 T・T、特定児童へのサポート 等 ○ 行事・校務の負担減や整理 ○ 校務のマニュアル化への提案、校務支援ソフトの活用、プロジェクトチーム等の組織
ア 若手教員の「不安」の把握	
イ 組織的な「しくみ」や「工夫」	
ウ 組織的取組を進める上での留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材育成における教職員の方向性の統一 ○ 職場の人間関係の構築や雰囲気醸成 ○ 指導的役割の育成、先輩教員への配慮、メンタルヘルスへの配慮
(2) 若手教員にとって安心できる組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若手教員の「不安」や「展望」の実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若手教員の「不安」の内実 ・ 「不安」を「安心」に変える自身の取組 ・ 「不安」を「安心」に変えるために望むこと（組織的な取組を含む）等 ○ 若手教員の声に耳を傾けた人材育成
ア 若手教員の実態把握	
イ 若手教員にとって安心できる組織	

3 副校長・教頭としての今後の課題

副校長・教頭の取組や意識と若手教員の実態を照らし合わせることにより、若手にとって安心できる組織づくりのための「しくみ」や「工夫」を見出すことができた。しかし、そのためには、新たな時間の捻出・場の設定・共通理解の進捗等、今以上の負担感が増すことは否めない。行事・校務の精選・調整やタイムマネジメントの指導等において、さらなる工夫・改善が求められる。